

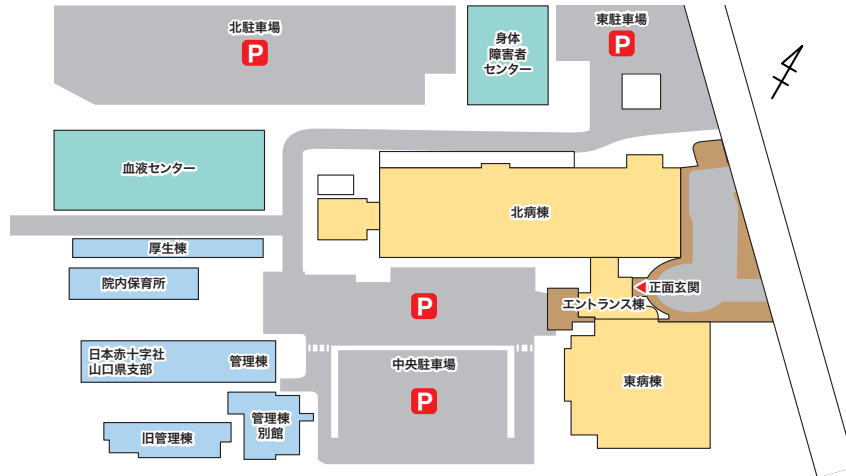
病院概要

敷地面積及び建物面積 建物面積36,318.79㎡

病床数 377床(NICU9床、GCU6床、HCU8床、緩和ケア25床含む)

標榜診療科				
内科	膠原病内科	小児科	泌尿器科	気管食道科
呼吸器内科	循環器内科	外科	皮膚科	放射線科
消化器科	脳神経内科	乳癌外科	産婦人科	歯科口腔外科
糖尿病内分泌内科	緩和ケア内科	整形外科	眼科	麻酔科
腎臓内科	精神科	脳神経外科	耳鼻咽喉科	リハビリテーション科
付帯事業 訪問看護ステーション				

【病院案内図】2023年秋頃 中央駐車場を含む外構整備完了予定



【病棟配置図】

	東病棟	エントランス棟	北病棟
8階	● 緩和ケア病棟	●	
7階	● 一般病棟	●	
6階/PHF	● 一般病棟	●	
5階	● 一般病棟	●	● 一般病棟
4階	● 一般病棟	●	● 一般病棟/HCU
3階	● 一般・産科病棟 NICU・GCU	● 連絡通路	● リハビリ/中央材料室/栄養課 医局/MC/会議室
2階	● 中央手術室	● 連絡通路	● 外来/透析センター/薬剤部 内視鏡/検体検査/生体検査 過院治療センター(化学療法)
1階	● 外来/健診センター 女性医療センター 売店/ラウンジ	● エントランス	● 総合受付/共用外来/放射線科部 入院支援センター 救急処置室/中央処置室 夜間子ども急病センター
地下1階	● 中央監視室/創検室/鑑査室		

● 患者・外来用EV

● 患者搬送・物品・職員用EV

注 外米
※ブロック 内科(消化器、呼吸器、糖尿病内分泌、腎臓、膠原病)
脳神経内科、脳神経外科
※ブロック 外科、整形外科、緩和ケア内科、精神科



病院沿革

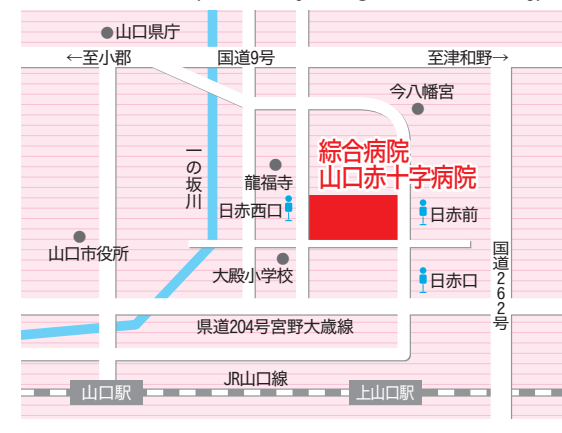
明治 16年 4月 山口町八坂神社境内に前身である山口県立病院を仮設置
17年 3月 山口町八幡馬場の新築病院に移転し診療開始、山口県立病院の開設
大正 9年 4月 日本赤十字社山口県支部開設(233床)として発足する
救護看護婦養成を開始
昭和 18年 1月 山口赤十字病院と改称
同時に山口赤十字病院救護看護婦養成所と改称
25年 4月 厚生大臣より甲種看護婦養成所指定(山口赤十字高等看護学院)
33年 1月 総合病院山口赤十字病院に改称
51年 11月 専修学校専門課程の認可により、山口赤十字看護専門学校となる
53年 3月 看護専門学校棟竣工
55年 5月 南病棟竣工
58年 4月 病院開設許可申請、増築許可(12床)487床となる
60年 3月 NICU増設に伴い許可病床数502床となる

平成 10年 3月 実習棟竣工(保育所・看護大学実習室・看護婦寮)
11年 4月 許可病床数524床となる
10月 東病棟・ライナック棟完成
12年 1月 緩和ケア病棟として25床を承認
2月 南病棟・西病棟改修工事竣工
16年 8月 認可病床数505床となる
10月 回復期リハビリテーション病棟承認
17年 3月 山口赤十字看護専門学校閉校
4月 日本赤十字広島看護大学、日本赤十字九州国際看護大学 臨地実習受け入れ
11月 日本医療機能評価機構(Ver.4.0)認定
19年 5月 許可病床数475床となる
9月 管理型臨床研修病院の指定を受ける
10月 日本医療機能評価付加機能評価(緩和ケア機能)認定
20年 2月 地域がん診療連携拠点病院の指定を受ける
7月 DPC対象病院となる
22年 11月 山口地域夜間こども急病センター開設
日本医療機能評価機構(Ver.6.0)認定
23年 10月 DMAT指定病院認定
24年 7月 GCU設置
25年 4月 回復期リハビリテーション病棟(35床)を一般病棟へ変更
26年 6月 南病棟5階へHCU(4床)を設置
27年 4月 南3階病棟に外科系患者を中心としたHCUを4床設置
28年 4月 入院支援センター設置
9月 地域医療支援病院認定
10月 内視鏡外科手術センター設置
30年 6月 神経内科から脳神経内科へ名称変更
8月 許可病床数427床となる
31年 3月 電子カルテシステム導入
令和 元年 5月 新病棟建設起工式
2年 2月 夜間こども急病センターの対象に防府市を追加、山口・防府地域夜間こども急病センターに改名
2月 山口県立大学と包括連携協定を締結
4月 事務部に医療支援課を設置
5月 新型コロナウイルス感染症対策本部設置
7月 緩和ケア科を緩和ケア内科として標榜
令和2年7月豪雨災害にDMAT1名、救護班1班(8名)を熊本へ派遣
11月 内科を内科・消化器内科・呼吸器内科・糖尿病内分泌内科・膠原病内科・腎臓内科に細分化し標榜
日本医療機能評価機構「機能種別版評価項目3rdG:ver.2.0」認定
3年 1月 COVID-19クラスター(宇部)へDMAT職員派遣(ロジスティクス3名 医師2名)
4年 10月 新病棟(北病棟)稼動(8月竣工)
許可病床数377床となる
HCUを8床に増床
高精度放射線治療装置 トモセラピー稼動



総合病院 山口赤十字病院

〒753-8519 山口県山口市八幡馬場53番地1
TEL.083(923)0111 FAX.083(925)1474
ホームページ <http://www.yamaguchi-redcross.jp/>



交通機関
●JR山陽新幹線山口駅からタクシーで約30分
●JR山陽本線新山口駅から防長バス(車庫行き)で約40分 日赤前バス停下車 徒歩1分
●JR山口線新山口駅→21分→山口駅→3分→上山口駅下車 徒歩3分
●山口宇部空港から路線バス約73分(山口駅)タクシーで約10分
●中国自動車道山口ICから国道262号、県道204号宮野大蔵線(看板有り)で15分

わたしたちは、「患者さん中心の地域連携」に取り組み、 あたたかな信頼のおける医療を提供します

基本方針

1. 赤十字の心(人道、公正、積極性)をもって、良質で温もりのある医療を提供します。
2. 医療に関わるあらゆる安全管理に、最大の努力をします。
3. 災害時には、地域の皆様の医療救護活動に努めます。
4. 一人ひとりが活き活きと、働きがいのある病院を目指します。



山口赤十字病院長
末兼浩史

急性期総合病院としての機能とともに、周産期医療、小児救急医療、緩和ケア医療を含んだがん診療、難病診療など特色のある医療を提供しています。今後とも、赤十字の理念に基づき、医療を受けられる人にとっても、また、当院で働く人にとっても あたたかな、信頼のおける病院であることを目指します。皆様がわれわれの仲間として加わって頂けることをお待ちしております。



2023年秋 グランドオープン
(中央駐車場を含む外構整備完了)

薬剤部 チーム医療を展開



製剤・調剤・服薬指導のみならず、感染制御認定薬剤師をはじめがん化学療法認定薬剤師等、チーム医療にも積極的に参加し、専門性を持った活動を展開しています。



検査部



専門検査技師たち

抗体検査においては高水準の機器を導入するとともに生理検査をはじめ、病理検査・細菌検査等幅広い検査内容を院内にて行っております。専門性が求められる昨今、職員教育や研修へも積極的に参加しています。



各部門共々、質の高い医療の提供を心がけて日々研鑽しています。各職種が協力する機会も多く、アットホームかつ互いを高めあえる環境で医療に向き合うことができます。

放射線科

高度で良質な医療

高水準の機器を導入し、高度で良質な画像診断及び放射線治療を行っています。女性技師の進出も活発で患者さんのニーズに沿った診療を心がけています。



リハビリテーション技術課 様々な経験と技術

病気の発症早期から積極的に介入しています。総合病院ならではの様々な疾患に携わることができ、患者さんのADL・QOL向上に関わる重要なリハビリテーションを経験することが出来ます。



使命を果たす

災害救護活動は赤十字に与えられた使命です。有事の際は6個班配備されている救護班が立て続けに出勤し、被災地域の医療を手助けしています。



災害救護活動

山口地域の災害のみならず、東日本大震災をはじめ様々な災害に出勤した実績があります。被災者のこころのケア活動も行っており、被災地の長期的なケアも赤十字の特色といえます。



東日本大震災においては、研修医も救護班員となり、被災地での活動を展開しました。



育て、成長する

各部署がそれぞれのカリキュラムに沿って充実した教育体制を整えており、各分野の専門領域における資格取得の研鑽も積めます。また、臨床研修医をはじめ、看護学生や薬学生など様々な学生も実習に訪れており、院内はいつも活気にあふれています。



臨床研修施設

当院は医師臨床研修施設に認定されており、毎年卒後1・2年目の医師が様々な科で修練しています。若い力が病院の活気を生んでいます。



充実した看護教育

「人道」の精神に基づき、看護実践・教育を行っています。「赤十字施設のキャリア開発ラダー」、「リフレクション」を導入し、看護職員個々が赤十字人、専門職業人としてキャリアアップできるしくみを整備していることが特徴のひとつです。



あたたかな、信頼のおける医療を届ける。



周産期母子医療

当院は地域周産期母子医療センターに認定されており、妊婦・胎児の診療・健康管理はもちろん、出産直後に小児科医による新生児の観察が可能な体制をとっております。NICU病床・GCU病床も兼ね備えており、生まれてくる「いのち」の重みに応える、あたたかな医療を提供しています。



連携を大切に

総合病院ならではの連携をとり、最良・円滑な診療を心がけています。



夜間こども急病センター

当院は地域の小児救急医療拠点病院として日夜診療に当たっています。平成22年に山口地域夜間こども急病センターを院内に開設しました。令和2年から防府地区も加わり、山口・防府地域夜間急病センターとして稼働しています。医師会や周辺地域の先生方の協力を得て夜間の地域小児医療の中心的役割も担っています。



あゆみ保育園

院内保育園「あゆみ保育園」は子どもを持つ病院で働くスタッフに広く門戸を開いています。約60名の園児を13名のスタッフ体制でみており、園内はいつもにぎやかで元気いっぱいです。24時間保育・体調不良児保育も行っており、安心して仕事に専念できる環境設定を行っています。詳しくは病院までお問い合わせください。



ICT

感染対策チーム

ICD（インфекションコントロールドクター）を中心に、感染の専門性を持った職種で構成しており、院内における様々な感染症予防・対策を講じています。地域病院との合同カンファレンス等にも積極的に企画・参加し、地域全体の意識を高めようと奮闘しています。

NST

栄養サポートチーム

栄養管理はすべての患者さんの治療・ケアの基本となります。当院では栄養改善の必要な患者さんに栄養療法が積極的にできるよう他職種協同で栄養サポートチームを運営しています。特に口から食べられないことを最優先とし、食事面で細かく対応しています。



小児医療

周産期母子医療センターや小児救急拠点病院の機能はもちろん、一般小児外来のほか、循環器、神経・発達、低身長、アレルギー、フォローアップ（NICU）などの専門外来も開設しており、地域医療に根ざした活動を展開しています。



安らぎを

がんの治療と症状緩和を組み合わせ、身体的症状をやわげるとともに、患者さんとご家族ができる限り良好な日々を過ごすように支援いたします。

緩和ケア病棟

各種（治療に反応しなくなった）がん、がんの治療と症状緩和を組み合わせ、早い時期から病気の進行を抑えながら、痛みやその他の身体的症状をやわげるとともに、患者さんとご家族ができる限り良好な日々を過ごすように支援いたします。



チーム医療